

愛知の土地改良

新年のご挨拶	2	研修会	17
叙勲・表彰	7	広報活動	22
要請活動	8	お知らせ	27
事業情報	13		



「秋の彩り」(矢作ダム)

第20回あいちの農業・農村フォトコンテスト
水土里フォト大賞作品



みどり
水土里ネット
愛知

発行／愛知県土地改良事業団体連合会
名古屋市西区栄生一丁目18番25号
電話(052)551-3611(代)



新年のご挨拶

新年を迎えて

愛知県土地改良事業団体連合会

会長 中野 治美



あけましておめでとうございます。

新年にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には、新年を迎える益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

また平素は、本会の運営及び農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスについて、感染力の強い変異株による感染拡大が続き、10月6日開催の第43回全国土地改良大会群馬大会は感染症のリスクを最大限回避するため初のオンライン開催となりました。第5波については10月半ばより収束に向かいましたが、昨年末に新しい変異ウイルス、オミクロン株の感染が国内でも確認されたことを受けて、第6波を想定し引き続き危機感をもって対応すべき局面が続いております。

さて、令和4年度の国の概算決定の農業農村整備関連予算は、農地の大区画化や汎用化・畝地化・新たな農業水利システムの構築、また、農業水利施設の適切な更新・長寿命化・省エネ化・再エネ利用、ため池の防災・減災対策や農業用ダムの洪水調節機能強化、集落排水や農道等の生活インフラの整備を推進するために、本年度相当の6,300億円が確保されました。

ご承知のように本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心に各種の土地改良事業を展開してきたことにより、農業産出額で全国8位、中部地方最大の農業県であり、これを支えていくためにも、計画的かつ着実に農業生産基盤の整備を進めていかなければなりません。

特に、基幹的農業水利施設の相当数は老朽化がすんでおり、計画的かつ効率的な施設の補修・更新等について喫緊の対応を求められております。

また、基幹的農業水利施設の維持管理を実施している土地改良区では、組合員の高齢化・減少に伴い組織運営体制が脆弱化し、今後、農業水利施設をいかに適切に維持管理していくかが課題であります。

こうしたことを踏まえ、本県の農業が安定的に継続できるよう次代を見据えた土地改良施設の更新や機能保全対策等を実施していく必要があり、その計画的な推進のためには、当初予算の確実な確保が不可欠であり、そのため本会では、あらゆる機会をとらえて関係国会議員、農林水産省、愛知県、関係愛知県議会議員に対して強力に要請活動を展開し、予算確保に全力を取り組んで参ります。

また、令和4年度から義務化となります貸借対照表の作成及び員外監事に関する制度の運用など、土地改良区が抱える課題についてもひきつづきサポートをさせていただきます。

水土里ネット愛知は、会員の皆様方のご意見等を反映しつつ業務運営に一層の鋭意努力をして参りますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

コロナ禍を乗り越えて、一日も早く安心して生活できる事を願うとともに、土地改良事業の限りなき発展と皆様の益々のご繁栄を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春を迎えて

愛知県知事

大村秀章



あけましておめでとうございます。
新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が、県民の皆様の生活や経済活動に大きな影響を与える中、安心な日常生活と活力ある社会経済活動を取り戻していくため、オール愛知で一丸となって、感染症の「克服」に向かって取組を進めてまいりました。

こうした中でも、ジブリパークの整備推進、世界最高クラスのアリーナとなる愛知県新体育館、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」の整備着手など、感染症克服後を見据え、将来にわたって、日本の成長をリードし続ける愛知を形作っていかなければなりません。

世界は、グローバル化の進展やそれに伴う感染症リスクの増大、デジタル技術の急速な発展などにより、加速度的な変化を遂げています。今後も、愛知が日本の成長エンジンとして、我が国の発展を力強くリードしていくためには、そうした変化に的確に対応し、イノベーションを巻き起こしていくなければなりません。

今年も、国内外の優れたスタートアップと地域のモノづくり企業とのオープンイノベーションにより、イノベーションが次々と創出される、愛知独自のスター

トアップ・エコシステムの形成を促進するとともに、海外先進地域との連携を深め、世界に例を見ないグローバルなイノベーション創出拠点の形成を目指します。

また、リニア大交流圏を見据えた社会インフラ整備、農林水産業の振興、教育・人づくり、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上にもしっかりと取り組んでまいります。

今年7月には、3年に一度の国際的な現代アートの祭典、国際芸術祭「あいち2022」を開催します。秋にはいよいよ、ジブリパーク全5エリアのうち、「青春の丘エリア」「ジブリの大倉庫エリア」「どんどこ森エリア」の3エリアが開業します。愛知の魅力を高める取組を着実に進め、国内外での愛知のプレゼンスをより一層高めてまいります。

2022年は、1872(明治5)年に現在の愛知県が誕生してから、150周年にあたる記念すべき年です。県民の皆様に、郷土への愛着と誇りを改めて持っていたり、そして、将来も愛知県に住み続け、愛知をより良くしていきたいと思っていただけるよう、今年も全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤 金日子



新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、愛知県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただきながら、早5年が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円(TPP等対策: 774億円、米対策: 46億円、国土強靭化5か年加速化対策: 1,012億円)です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円(令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む)であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、①農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加(現在は区画整理と農地造成のみ)、②「農地耕作条件改善事業」の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等とともに除草機器を追加、③省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、④「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」(防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備)を新設(国費率を従来の30%から50%に嵩上げ)、⑤「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を見て、現場の声を聞いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。愛知県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むために改選という高くて厚い壁を超えてなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き継ぎのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。

新年ご挨拶



農林水産大臣政務官
参議院議員 宮崎 雅夫



愛知県土地改良事業団体連合会会員各位ならびに
関係の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧
年中は多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝
申し上げます。

昨年10月に発足した岸田内閣ならびに11月発足
の第二次岸田内閣において、農林水産大臣政務官を拝
命いたしました。これも偏に愛知県の皆様ならびに、
進藤金日子参議院議員はじめ先輩国会議員のご指導
とご支援によるものであり、本年も新たな気持ちで現
場主義に徹しつつ皆様のご意見をお伺いしながら一
層努力して参る所存ですので、引き続きのご指導をお
願いいたします。

さて、ここ2年に亘って農林水産業はじめ各方面に
影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、國
民の皆様のご協力により、昨秋以降の新規感染者数は
低位に推移していますが、新たな変異株による感染拡
大も懸念される昨今の状況からは決して油断するこ
とはできません。

経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料の多くを
輸入に頼る我が国にとって食料安全保障の確立は極
めて重要であり、そのためには我が國の農林水産業の
持続的発展が不可欠です。

こうした中、昨年末には、皆様のご協力により令和
4年度当初予算案が閣議決定されるとともに、臨時國
会において令和3年度第1次補正予算が成立し、農業
農村整備事業関連予算として合計6,300億円を確保
することができました。

このうち、令和4年度当初予算案においては、前年
度の当初予算を上回る4,468億円を確保し、農地の

大区画等の推進、水利施設・ため池等の老朽化対策や
流域治水などを推進することとしています。また、令
和3年度補正予算では、TPP対策や防災・減災、国土強
靭化対策の加速化に必要な1,832億円が計上されて
おり、全国の皆様のご要望にしっかりとお応えできる
規模となっています。

また、これから国会で議論される令和4年度当初予
算案においては、関連する土地改良法の改正を検討す
ることとしており、主な事項としては、これまで地震
対策として実施してきた、ため池等の急施の防災事業
に豪雨対策を追加すること、農地中間管理機構関連農
地整備事業の対象工種に農業用水路や農道を追加す
ること、市町村や土地改良区による防災対策事業の機
動的実施のため、土地改良事業団体連合会による技術
的支援等を可能とすること、また、組織の維持が困難
となった小規模土地改良区について、法人格を維持し
ながら認可地縁団体等に移行できる手続きを規定す
ることなどを予定しています。予算と制度が車の両輪
となって土地改良が円滑に実施され効果が確実に発
現できるよう、引き続き進藤金日子議員とともに頑
張って参る所存です。

これからも皆様とともに土地改良を着実に推進す
るため、もう一つの大切な車の両輪である、進藤金日子
議員と一緒に国政で取り組んで行けるよう、愛知県の
皆様に格段のご支援をお願い致します。
結びに、本年が皆様お一人おひとりとご家族にとって
素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年の
挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひいた
します。

年頭のご挨拶

愛知県農林基盤局長

平田 誠



あけましておめでとうございます。

愛知県土地改良事業団体連合会におかれましては、中野会長様を中心に、県政の発展に多大な御支援をいただくとともに、本県の農業農村整備事業の推進に格別な御尽力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、1961年の全面通水以降、尾張東部、知多、西三河地域を潤し、人々の生活や農業・工業地域の発展に大きく貢献してきた愛知用水が、昨年9月に通水から60年を迎えたことから、大府市内のJAあぐりタウンげんきの郷において、愛知用水の重要性や水源地からの恵みをしっかりと認識し、感謝の気持ちを次世代へと引き継ぐための記念イベントを開催しました。

また、例年8月に貴連合会と共に開催している「あいちの農業用水展」におきましても、昨年は愛知用水を紹介する特別展示を併設し、県内の農業用水の歴史や先人の努力の積み重ねにより育まれてきた「水」の重要性について広く県民の皆様にお伝えするとともに、工夫を凝らした展示により関心を高めてもらうことができました。

現在、農林基盤局では、こうしたイベントにおいて、愛知県全域の衛星写真に大規模農業用水の流れを示した大型のラバーマットやタペストリー、農業農村整備をイメージしたロゴをプリントしたポロシャツ、ジャンパー、バックボードなどを活用することで、コロナ禍における効果的なPRを展開しております。また、非接触型の啓発活動として、YouTubeで動画配信をしておりますので、ご覧いただけたら幸いです。

一方、近年の豪雨災害は激甚化・頻発化の傾向が顕著となり、本県においては南海トラフ地震の発生も危

惧されていることから、県民の皆様の防災に対する関心は非常に高く、農業水利施設の適時・適切な更新とともに、排水機場やため池の豪雨・耐震対策が急務であると考えております。

こうした中、国の農業農村整備関係予算は、2021年度補正予算で「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を含め1,832億円が確保され、2022年度当初予算につきましては4,453億円が見込まれております。県としましては、地域のニーズに応じた計画的な事業実施に必要な予算を確保し、農業生産基盤の整備や地域の防災減災対策などを着実に推進してまいります。

また、愛知県は今年、県政150周年を迎えることから、150年の歩みを県民の皆様に知ってもらえるよう、様々な機会にPRしていただける企業、団体を「愛知県政150周年記念協力企業・団体」として登録し、連携を図ることとしております。貴連合会におかれましては、既に協力団体として登録いただいていることに感謝申し上げるとともに関係者の皆様にPRしていただきますよう、御協力の程よろしくお願いいたします。

併せて、今後とも本県の農業農村整備の推進に一層の御尽力をいただくとともに、これまで培われた知識や技術力を駆使して、多面的機能を有する農地や農業用水等の保全管理、土地改良区の新たな体制づくりに御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、貴連合会の益々の御発展と会員各位の御健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

秋の叙勲

政府は令和3年11月3日付で令和3年秋の叙勲の受章者を発表しました。

土地改良事業功労として、本会理事・幸田土地改良区理事長・矢作南部土地改良区連合理事長の山口文雄様が受章（旭日双光章）の栄に浴されました。

このたびの栄えある受章を心からお慶び申し上げ、益々ご健闘でご活躍されますようお祈りいたします。

旭日双光章



山口 文雄 様

本会理事・幸田土地改良区理事長・
矢作南部土地改良区連合理事長

第73回 愛知県条例表彰

愛知県では、愛知県表彰条例（平成15年条例第6号）に基づき、地方自治、産業、教育文化などの各分野において功績が顕著な個人（団体）に対し、毎年愛知県知事より表彰が執り行われております。

このたび、多年にわたり土地改良区の要職に就

かれ、地域の農業基盤の整備や農業の振興に貢献された方々に対し「産業功労者表彰」が贈られました。

これまでのご尽力に感謝を申し上げますとともに、心よりお祝いを申し上げます。

神谷 金衛 様（元本会会長・元明治用水土地改良区理事長）

小粥 道夫 様（神野新田土地改良区理事長）

吉川 靖雄 様（八開村土地改良区理事長）

農業農村整備の集い

— 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

11月16日(火)、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバッハ・サポーで農業農村整備の集いが開催された。

例年この集いは、全国の土地改良関係者が一同に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に春・秋と2回開催されているが、今年は前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で春の集いは取り止めとなり、この秋の集いにおいては、普段よりも規模を大幅に縮小しての開催となった。本県からは、中野治美会長始め、本会会員、愛知県農林基盤局より16名が参加した。

冒頭、二階俊博全国水土里ネット会長は、令和3年度予算について多くの方々に尽力いただいた結果、令和2年度の補正予算と合わせ6,300億円を確保することができたことに合わせ、防災・減災のための国土強靭化対策が延長され新たなるか年対策として総額15兆円が予算化されたことに対する感謝の言葉を告げられた。

また、詰めの段階に入った令和4年度の予算編成においては、「新型コロナウイルス感染症が未だ大きな脅威となっている中、ここにお集まりの皆さんのがこれまで培ってこられた技術や経験を最大限に発揮して、農家の方々に期待をもって働いていただける環境を作るため、ここに集う我々が一致団結して闘っていかなければならぬ。今年度から本格的に進めている「土地改良団体男女



二階全国水土里ネット会長による主催者挨拶

共同参画」についても、土地改良団体の活性化のために取り組んでいかなくてはならない。」と力強く挨拶された。

その後、二階会長の提案により、土地改良における男女共同参画を先駆的に実践された、故・藤井チエ子さん(山口県土連理事・山口水土里ネット女性の会初代会長)、奥村千扶子さん(宮崎県大島壱土地改良区理事長)に対し、二階会長より感謝状が授与された。

統いて、金子原二郎農林水産大臣より、「我が国の農林水産業の現場では、人口減少に伴う国内市場の縮小や事業者の減少・高齢化など、厳しい状況に直面している。また、昨年来の新型コロナウイルス感染症は、外食向けの食材も減少させ、農業者にも影響を与えている。このため、政府は一貫となって販売促進に向けた対策を実施しているところであり、今後とも所得の向上と農山漁村の活性化を実現するための改革を、地域に寄り添いながら進めていく。農業農村整備事業は、農地や農業水利施設といった、農業にとって必要な生産基盤を整備する事業であり、農村地域の安心・安全な暮らしを実現する上で大変重要な事業である。農林水産省は、農業の競争力強化や、農村地域の国土強靭化を図るために農業農村整備を、全国の土地改良関係者の皆さんとともに、引き続きしっかりと推進していく。」との祝辞をいただいた。



進藤参議院議員祝辞

その他、石井啓一公明党幹事長、森山裕自由民主党TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、進藤金日子参議院議員から祝辞が述べられ、予算確保や土地改良事業の更なる推進への尽力を誓った。

最後に、新年度予算の確保へ向けての“ガンバロウ三唱”を加藤里恵あいち水土里ネット女性の会会長、斎藤富子やまぐち水土里ネット女性の会会長、松野弘宗全国水土里ネット企画研究部主事の3名により発声され、土地改良団体の更なる活性化のため、一致団結することを誓い閉会した。



あいち水土里ネット女性の会
加藤会長らによる“ガンバロウ三唱”

令和4年度 農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

〈東海農政局〉

11月11日(木)、山本信介専務理事より、令和4年度農業農村整備事業に関する21項目の重点

要請を、小林勝利東海農政局長を始め、局幹部職員に対し実施した。



小林勝利東海農政局長に要請書を手交



東海農政局幹部への要請

〈農林水産省及び関係国会議員〉

11月16日(火)、令和4年度農業農村整備事業に関する21項目の重点要請を、進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫農林水産大臣政務官、藤川政人

参議院議員始め愛知県選出の衆・参議院議員に対し実施した。また、同内容の重点要請を、安部伸治農村振興局次長を始め幹部職員に対し実施した。



宮崎雅夫農林水産大臣政務官に要請書を手交



安部伸治農村振興局次長に要請書を手交

10ページへ続く

〈自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟〉

11月30日(火)、山本信介専務理事より、令和4年度農業農村整備事業に関する23項目の重点要請を、自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟に対し実施した。



自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟への要請

〈愛知県知事〉

その後、同内容の重点要請を、大村秀章愛知県知事始め県執行部に対し実施した。



大村愛知県知事に要請書を手交

要請書並びに重点要請項目の内容は次のとおり。

要請書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

国においては、令和4年度の概算要求におきまして、農業農村整備関連予算について、前年度より818億円増の5,263億円を要望しているところであります。

事業の新規採択を含め、その計画的な推進のためには、当初予算の安定的な確保が不可欠であります。令和4年度概算要求額の満額確保と合わせ、補正予算を編成し、現場からの強い要請に応えられるよう、十分な予算措置をお願いいたします。

本県は、古くから木曽川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、農業生産額で全国第8位、中部地方最大の農業県であり、これを支えていくためにも、計画

的かつ着実に農業生産基盤の整備を進めていかなければなりません。

これらの大規模農業水利施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新していくためには、国営事業を着実に推進していくと共に、その他の施設についても、適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実施していく必要があります。

特に、本県の農業を飛躍的に発展させた水資源機構の施設のなかでも、木曽川用水施設は地盤沈下等による機能低下が生じていることから、機構施設の更新整備が必要であります。

また、県内には基幹的排水機場230機場のうち、未整備が135機場、防災重点農業用ため池1,035ヶ所のうち、未診断、未整備が合わせて491ヶ所に及んでいる。豪雨や大規模地震により、周辺地域や下流に甚大な被害をもたらすおそれがあります。安定した農業経営、農村の安全・安心な暮らしの実現のため、防災・減災に資す

る農業用施設の耐震・豪雨対策等が必要ありますので、「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」予算の十分な確保をお願いいたします。

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、3つのテーマで合わせて23項目の重点要

請を行いたいと思います。愛知県土地改良事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。

重点要請23項目

I 地域ニーズに応じた農業農村整備事業の展開について

- 1 農業農村整備事業の着実な推進について
- 2 農業水利施設の防災・減災体制整備の支援について
- 3 中山間地域における土地改良施設の更新事業にかかる地元負担の軽減について
- 4 土地改良区制度の見直しに伴い新たに生じる負担への支援について
- 5 水資源機構官事業の制度創設について

II 農業の成長産業化、国土強靭化に資する農業農村整備事業の促進について

- 1 農業の競争力強化に向けた農業基盤整備事業の促進について
- 2 国土強靭化に資する農村地域防災減災事業の促進について
- 3 農業用排水路の老朽化及び長寿命化対策の促進について
- 4 特定農業用管水路等特別対策事業の促進について
- 5 農山漁村地域整備交付金の促進について
- 6 多面的機能支払交付金による地域の共同活動の着実な促進について
- 7 土地改良施設維持管理適正化事業の促進について
- 8 水利施設管理強化事業の促進について
- 9 単独土地改良事業等の推進について
- 10 農業用排水機場の適切な維持管理に対する支援について

III 春らしを支える大規模水利施設耐震化及び更新整備について

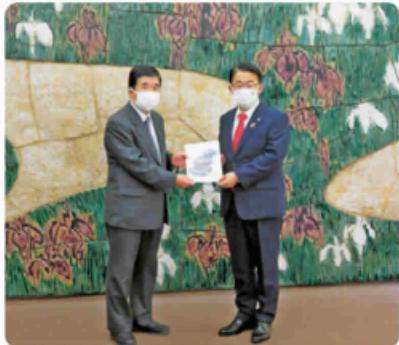
- 1 国営総合農地防災事業 新濃尾地区的推進について
- 2 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区的推進について
- 3 国営施設機能保全事業 尾張西部地区的推進について
- 4 国営土地改良事業 矢作川沿岸地区的早期事業化について
- 5 宮田用水施設における地域整備方向検討調査の着実な推進について
- 6 水資源機構官 豊川用水二期事業の推進について
- 7 水資源機構官 木曽川用水濃尾第二施設改築事業の令和4年度着工について
- 8 水資源機構官 愛知用水三好支線水路緊急対策事業の推進について

※国会議員・農林水産省には、IIの9・10除く21項目を要請

農業用排水機県営移管期成同盟会 要請活動を実施

11月30日(火)、農業用排水機県営移管期成同盟会において、浜田一徳会長が、大村秀章愛知県知事を始め、県執行部並びに自由民主党愛知県議

員団土地改良議員連盟に対し排水機維持管理事業に関する要請を実施した。



大村愛知県知事へ要請書を手交



自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟への要請

要請書は次のとおり。

要請書

排水機維持管理事業に関する要望

排水機維持管理事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業用排水機は、農地のみならず住宅地や公共施設用地など地域全体の排水を担っており、その公共性の高さから農業用排水機県営移管期成同盟会は農業用排水機の県管理を要望してまいりました。

これに対し愛知県は「直ちの全面的県営管理は不可能」とし、代替措置として排水機維持管理事業を創設されました。

このことは農業用排水機の公益性を踏まえ、私どもが公的な役割を果たしていくことの結果として、その費用を補助して頂いているところであります。

現在、県営事業で計画的に農業用排水機の長

寿命化や更新を行って頂いておりますが、近年、各地で台風や豪雨による災害が発生しており、農業用排水機の管理者の責任はますます増大していることから、より高度な点検・整備と運転体制を確保する必要があると実感しております。

しかしながら、排水機維持管理事業の県補助額につきましては、本来の交付対象額が充足されていない状況が続いている。

この状況が更に続けば、排水機の適正な維持管理が困難になり、ひいては地域の防災機能の脆弱化を招き、地域住民の生命と財産を守ることが極めて困難になると懸念しております。

つきましては、こうした維持管理の現場における厳しい実情をおくみ取りいただき、排水機維持管理事業の予算確保に特段のお取り計らいをよろしくお願い申し上げます。

進藤金日子顧問が来県し、 県内水土里ネットと意見交換を実施

9月8日(水)～9(木)、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子氏(参議院議員)が本県の水土里ネットを訪れ、意見交換会を開催した。

各会場にて、進藤顧問が国政報告を行い、引き続い意見交換会が行われた。

いずれの会場においても活発な質疑、意見交換が行われた。



海部津島水利事務所



愛西市内土地改良区合同事務所



水土里ネット海部



水土里ネット愛知。
あいち水土里ネット女性の会運営委員会



水土里ネット宮田用水



水土里ネット祖父江町



水土里ネット木津用水



水土里ネット豊田



水土里ネット豊川総合用水



水土里ネット幸田



水土里ネット明治用水



幡豆水利事務所



水土里ネット愛知用水

第43回 全国土地改良大会 群馬大会

鶴舞う形 群馬の大地 水土里の未来へ ここから羽ばたいて

第43回全国土地改良大会群馬大会が、10月6日(水)、群馬県コンベンション施設「Gメッセ群馬」(群馬県高崎市)において、水土里ネット群馬・全国水土里ネットの主催により開催された。

本来、令和2年に開催される予定だった群馬大会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い令和3年へ延期となり、感染状況の緩和を見据えて有観客での開催として企画されていたが、初夏から再び全国的な感染拡大の兆候が見られたため、無観客での開催に変更され、YouTubeにて全国にその模様がリアルタイムで配信された。

通常であれば、大会会場に関係者が一堂に集まり、功績者表彰や基調講演等が実施されるところ、今回は無観客ということで、あらゆる内容がリモート環境を駆使した形で実施され、オンライン開催という新たなモデルケースを打ち出す形となつた。

大会メッセージの群読、歓迎アトラクションが披露された後、熊川栄水土里ネット群馬会長による大会旗入場を皮切りに、国家斎唱、開会挨拶と進み、熊川会長は「この大会が全国の土地改良関係者にとって明るい未来に羽ばたいていく契機となりますよう願っています。」と挨拶を述べられた。

引き続き主催者挨拶として、二階俊博全国水土里ネット会長からは「群馬大会においては、感染



大会会場に用意された「水土里ネットだるま」

拡大が今日に至っても尚、収束することなく、やむなくオンライン開催という形になりました。今大会のために足掛け3年に亘って準備を進めてこられた群馬県土連の皆様、関係者の皆様にはオンラインという形になつても、全国各地でこの配信をご覧になっている土地改良関係者の想いが届いていることと確信しております。」との挨拶があつた。そこで「去る8月末、令和4年度の予算概算要求が提出され、いよいよ予算編成がはじまります。農家の方々に期待をもつて働いていただけるような環境を作るために、一致団結して闘つていかなければなりません。我々が標榜している『闘う土地改良』の代表として、進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員が日夜懸命の努力を重ねていただいております。来年はいよいよ進藤議員の2回目の選挙があります。何としても前回を上回るような結果で進藤議員を当選に導かなくてはなりません。土地改良事業の前進のために頑張りましょう。」と力強い挨拶が発せられた。

続いて、山本一太群馬県知事、富岡賢治高崎市長による歓迎のことば、金子原二郎農林水産大臣、群馬県選出の小渕優子衆議院議員、宮崎雅夫参議院議員による来賀祝辞の後、大会会場に来場された地元来賓の方々が紹介された。進藤金日子参議院議員は東京会場からオンラインにて参加された。

その後、土地改良事業功績者表彰式が行われ、



熊川水土里ネット群馬会長による大会旗の入場

III 研修会

換地関係異議紛争処理実務研修会

全国水土里ネット主催による標記研修会が、10月15日(金)、Web会議方式で開催され、農林水産省、東海農政局、岐阜県、三重県、愛知県、水土里ネットぎふ、水土里ネットみえ、水土里ネット愛知、水土里ネット京都、全国水土里ネットから28名が出席した。以下の協議事項について説明がなされた後、活発な意見交換が行われた。



協議事項	説明者（敬称略）
①換地を取り巻く状況について	農林水産省 農村振興局 整備部 土地改良企画課 換地係長 浦井 信雄
②換地関係異議紛争事例検討 岐阜県土連：国土調査の筆界未定地が存在する地区について、事業着工後も、筆界未定が解消できないまま換地設計基準に定める従前の土地の地積の基準により処理した事例	岐阜県土地改良事業団体連合会 業務部 換地指導課 課長 藤沢 広美
京都府土連：遅延地区解消に向けた取り組み事例	京都府土地改良事業団体連合会 業務課 主査 山田 隆
③中央換地センター報告 換地関係異議紛争処理検討事例一覧について 他	全国土地改良事業団体連合会 中央換地センター 所長 松尾 房雄

換地事務「新規担当者並びに換地計画実務」研修会

12月1日(水)、7日(火)、10日(金)、愛知県土地改良会館7階大会議室において、標記研修会を開催した。

東海農政局土地改良管理課、名古屋法務局、愛

知県農業振興課から講師を招き、愛知県、市町村、水土里ネット、コンサルタント等の換地技術者が出席した。

水土里情報システム利活用操作研修会

12月14日(火)～16日(木)にかけて、標記研修会を20団体・46名参加のもと以下の内容について開催した。

〈研修内容〉

①農地筆・耕区図の活用について

活用データを投入するためのユーザーレイヤを作成し、そこから出力したCSVデータへの書き込み作業実習を実施した。

また、图形の編集及び印刷ツールによる図面印刷の実習も行った。

②タブレットの活用事例紹介

①で作成したデータを使用して、現地調査を行う方法を紹介した。



農地・水・環境のつどい

11月23日(火・祝)、安城市民会館サルビアホールにおいて、「農地・水・環境のつどい」を愛知県と水土里ネット愛知の共催で開催した。この催しは、優良活動表彰会と研修会の2部構成になつておる、愛知県内の地域共同活動における農用地・水路・農道等、地域資源の保全管理と質的向上を図る取り組みの一層の普及、県民の理解促進、活動組織の意識向上を図るために、他の模範となる優れた活動に取り組む活動組織を表彰することを目的に毎年開催している。

第1部の優良活動表彰会では、大村秀章愛知県知事による主催者挨拶の後、3組織へ愛知県知事賞が、6組織へ愛知県土地改良事業団体連合会長賞が授与された。その後、進藤金日子参議院議員、坂田憲治愛知県議會議長による来賓祝辞が述べられた。この後、愛知県知事賞を受賞した3組織の活動が活動組織より紹介され、進藤金日子参議院



大村愛知県知事による主催者挨拶

議員が講評を述べられ第1部を終了した。

第2部の研修会では(株)白崎コーポレーションらくやのう営業部の長田大輝氏による機能診断・補修技術に関する研修が行われ、最後に中野治美会長による閉会の挨拶で幕を閉じた。

受賞組織は、次のとおり。

部 門	愛知県知事賞	愛知県土地改良事業団体連合会長賞
基礎活動	美しい室場を育てる広域協定運営委員会 (西尾市)	下市場営農組合(春日井市) 大桑組多面的活動(豊田市)
農村環境保全活動	赤目立石環境保全会 (愛西市)	二本木地区水土里の会(安城市) 吉川多面的資源保全会(新城市)
創意工夫	板山池田の農地を守る会 (半田市)	西市農地環境保全会(岩倉市) 豊橋東部みどり会(豊橋市)



優良活動表彰会での県土連会長賞授与



進藤金日子参議院議員による来賓祝辞

農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰45名の受賞者に表彰状と記念品が授与された。受賞者は会場スクリーンに一人ずつ写真と氏名が紹介された。本県からは、全国土地改良事業団体連合会長表彰に、小久保武彦田原市土地改良区理事長(本会監事)が表彰の栄に浴された。小久保氏には後日、本会の山本専務理事より表彰状と記念品が手渡された。

式典の後半には、安部伸治農林水産省農村振興局次長による基調講演「未来(あす)の土地改良」の後、進藤金日子参議院議員より、土地改良の予算確保、日本型直接支払制度の充実、災害に強い農山漁村づくり、自然豊かな美しい農山漁村の継承、女性の視点を大切にした政策、農林水産業と農山漁村への国民の理解促進に関する講演があった。

次に大会宣言として、群馬県立吾妻中央高等学校3年の関空翔さん、黒岩梓紗さんから「私たち上



進藤金日子参議院議員による基調講演

州人は、昔から仲間達と糸を紡ぎ、鶴舞う形のこの大地を耕してきました。私たちには、今ある美しい農村を守っていく義務があります。」という力強い宣言がなされた後、次期開催県の沖縄県に大会旗(オンラインのため目録を使用)が引き継がれ、大会は盛会裏に幕を閉じた。



全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞された
小久保武彦田原市土地改良区理事長

水土里ネット愛知 役員研修

11月25日(木)～26日(金)にかけて、本会の役員研修として県内の農業用施設について現地視察研修を開催した。

研修先として、現在工事が進行している設楽ダム(北設楽郡設楽町)をはじめ、水資源機構の管理する豊川用水二期大野導水併設水路(新城市日吉)、明治用水頭首工(豊田市水源町)に伺い、それぞれの事業概要や工事の進捗状況について各管理者より説明を受けた。

今回の研修先は、工事が進行中の場所や通常

は立ち入りが困難な場所が主であり、今この時期でしか確認することができない内容であったこともあり、有意義な研修として終えることができた。



設楽ダム工事現場



豊川用水二期大野導水併設水路の現地説明



明治用水頭首工の現地説明

水土里ネット事業視察研修会

12月2日(木)～3日(金)にかけて、農業農村整備事業の推進を図るため、事業視察研修会を開催した。

1日目には、設楽町で建設中の設楽ダムについて、国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所により説明を受け、現地視察を行った。

はじめに、3D模型による整備後の湛水状況や付替道路の完成予想図について説明を受けた後、施工中の設楽ダムの建設現場の見学を実施した。

2日目には、大井川土地改良区事務所において、内田理事長より「大井川土地改良区の概要」



設楽ダム 3D模型による説明



設楽ダム 工事現場での説明

について説明を受けた。複式簿記会計については、平成15年度より独自システムを導入し、その後、平成18年度には全土連の土地改良区会計制度検討会のメンバーとなり国の会計基準制度づくりに協力、平成23年度から国の基準に則った会計事務を行っているとの説明を受けた。その後、藤枝源助太陽光発電所へ移動、令和元年度から運用を開始しているが、大きな故障等ではなく安定的に稼働しているとの説明を受けた。

午後からは、静岡県の特産品であるお茶をテー



大井川土地改良区事務所での説明

マとした「ふじのくに茶の都ミュージアム」を見察し、茶の文化、歴史について理解を深めた。

いずれの視察先でも活発な質疑応答があり有意義な研修となった。



藤枝源助太陽光発電所での説明



ふじのくに茶の都ミュージアム

農業用排水機県営移管期成同盟会事業視察研修会

12月8日(水)～9日(木)にかけて、ポンブメーカーである(株)西島製作所(大阪府高槻市)、滋賀県東近江市の琵琶湖干拓大中の湖土地改良区が管理する大中の湖地区新田排水機場(基幹水利施設管理事業)の事業視察研修会を開催した。

研修会には同盟会役員・会員等53名が参加し、研修1日目の西島製作所では、谷川名古屋支店長による挨拶の後、同社職員による概要説明



(株)西島製作所

を受け、工場内を見学した。

2日目は、大中の湖地区新田排水機場を視察し、渡辺理事長による挨拶の後、五十子事務局長より土地改良区の概要、排水機場の管理維持、運転状況等について説明を受けた。

参加された方々は、2日間にわたりそれぞれの立場から熱心に視察され、地域における今後の農業用排水機の維持管理等の参考となる大変有意義な研修となった。



琵琶湖開拓大中の湖土地改良区

令和3年度 複式簿記導入促進特別研修会

10月12日(火)、14日(木)、19日(火)愛知県土地改良会館7階大会議室及び各土地改良区において、標記研修会を、全国水土里ネットによるWeb配信方式で開催した。

令和4年度から本格運用となる土地改良区の複式簿記導入の促進を図るため、土地改良区職

員を対象に開催した本研修会は、コロナウイルス感染防止の観点から3日間、同じ内容で出席者を分散させての開催となり、合わせて約80名に参加をいただいた。

なお、研修内容は次のとおり。

研修内容	講 師（敬称略）		
資産評価マニュアル等	全国水土里ネット 支援部主任	野崎 敬	
会計細則の見直し等	全国水土里ネット 支援部部長	市村 和寿	
開始貸借対照表	全国水土里ネット 支援部参与	田村 栄二	
財務諸表等の作成手順	全国水土里ネット 支援部主幹	田中 克哉	



山本専務理事による開講挨拶



Webによる配信

あいち水土里ネット女性の会 観察研修会

あいち水土里ネット女性の会は、令和2年11月の設立以降初めてとなる行事として、12月14日(火)県内土地改良区等の女性職員43名参加のもと、観察研修会を開催した。この観察研修会は参加者相互の情報交換の場を提供するとともに、知識やスキルの向上を図ることを目的に実施したもので、水土里ネット明治用水が管理する水のかんきょう学習館と明治用水頭首工の観察を実施した。

水のかんきょう学習館では、岩月事務局長より明治用水の概要や水の重要性などについて説明を受けた。その後、金城学院大学 丸山教授による「自分の食生活を楽しくデザインしよう」の講演があり、女性にとって大変興味深い内容を分かりやすく講義いただき、参加者からは意欲的に質問が挙がった。

明治用水頭首工では、中根水源管理所長より遠方監視制御システムによる農業用水の調整管理について説明を受け、矢作川総合第二期農地



水のかんきょう学習館での説明

防災事務所 柏木調査設計課長からは、管理棟屋上より明治用水頭首工を眺めながら頭首工や明治本流水路の耐震化対策工事の説明を伺った。

いずれの観察においても活発な質疑応答が交わされ、「他の土地改良区を観察することにより、普段の業務だけでは得られない有意義な時間が過ごせた」などの感想もあり、参加者相互が交流する場も多く見られ、活発な研修となった。



柏木調査設計課長による説明



中根水源管理所長による説明



観察研修会参加者集合写真

広報活動

第20回 あいちの農業・農村フォトコンテスト 入賞作品発表

12月24日(金)、本会主催、愛知県後援の「第20回あいちの農業・農村フォトコンテスト」の審査会を本会7階大会議室にて開催した。県内各地から、今回のテーマ「農業・農村の景観と調和する土地改良施設」を表現した作品262点(119名)

の応募があった。

審査は、審査会規程第2条により実施され、8名の審査員による厳正な審査の結果、水土里フォト大賞1点、優秀賞2点、入選10点、四季賞4点、多面的機能共同活動賞3点の合計20点が選考された。

水土里フォト大賞



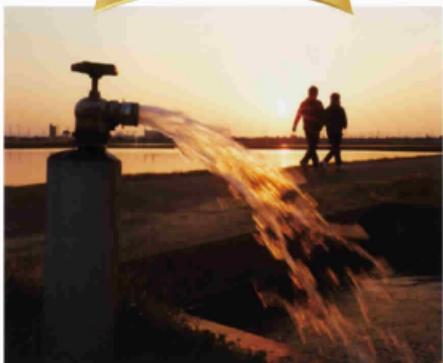
「秋の彩り」(撮影場所: 豊田市)
撮影者: 森山 想一郎

水土里フォト優秀賞



「メロン栽培」(撮影場所: 田原市)
撮影者: 吳 三喜男

水土里フォト優秀賞



「朝陽に輝く」(撮影場所: 岩谷町)
撮影者: 加藤 将文

水土里フォト大選①



「曲りくねった水の流れ」(撮影場所:額田郡幸田町)

撮影者・鈴木 恵子

水土里フォト大選②



「茜雲」(撮影場所:田原市)

撮影者・水谷 清

水土里フォト大選③



「足ぶみ脱ごく」(撮影場所:岡崎市)

撮影者・稻垣 日奈子

水土里フォト大選④



「ため池の彩どり」(撮影場所:岡崎市)

撮影者・竹田 等

★入賞・入選作品の展示を以下により実施します。是非お立ち寄りください。

展示場所	展示期間(予定)
愛知県庁本庁舎・西庁舎地下連絡通路	令和4年1月17日(月)PM～1月28日(金)AM
西三河県民相談室(西三河総合庁舎1階)	令和4年2月 4日(金)PM～2月18日(金)AM
愛知県県民相談・情報センター(自治センター1階)	令和4年2月18日(金)PM～3月 4日(金)AM
海部県民相談室(海部総合庁舎1階)	令和4年3月 4日(金)PM～3月18日(金)AM

*東三河総合庁舎は新型コロナワクチン大規模接種会場のため今年度は展示無し

「ふるさとの田んぼと水」 子ども絵画展2021

入賞・地域団体賞・入選作品決定
本県応募作品のうち3作品が入賞、
8作品が地域団体賞、18作品が入選

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2021に、全国から4,120点の応募があった。

今年で22回目を迎えた本絵画展は、「新発見！わたしたちのふるさと自慢」をテーマとして、子どもたちが農村に关心をもつてもらい、田んぼや水路、ため池による水の循環や環境保全への理解をうながし、大人たちへのメッセージとして子どもたちのまなざしを届けることを目的として、平成12年度から全国水土里ネットと都道府県水土里ネットが主催している。

有識者による厳正な審査の結果、入賞作品33点、地域団体賞作品45点、入選作品150点が決定した。本県からは、入賞3点、地域団体賞8点、入選18点が選ばれた。

なお、本県の入賞・地域団体賞作品は以下のとおり。

入賞 恵みの三つの水賞
(サンスイコンサルタンツ株)



「ふるさとの田んぼで手種えするわたし」
手原華菜 小3

入賞 大塚ホールディングス賞



「ふるさとの畠お花がいっぱい」
三浦玲依 小3

「秋の田園風景」
横田大空 小4



*県団体応募は、すべての水土里ネットが参画できます。令和4年度に向けてご検討いただければ幸いです。

詳細は、水土里ネット愛知総務課(TEL052-551-3611)まで問い合わせください。

地域団体賞

水土里ネット豊田理事長賞



「やりたがりうさい田舎え」
竹内弘輔 小6

水土里ネット豊田副理事長賞



「田と地と水」ハント
細田一樹 小1

水土里ネット豊田総務委員長賞



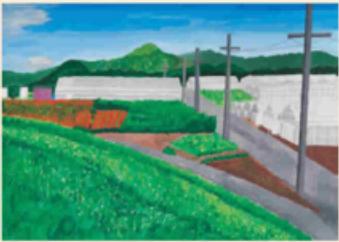
「おでかけくしのたんぽ」
植原菜々子 小1

水土里ネット愛知用水理事長賞



「みはやのひまじめしゃうかく」
山下雅央 小3

水土里ネット豊川総合用水理事長賞



「私の遊び場所」
小野田あむ 小4

油ヶ瀬悪水土地改良区理事長賞



「わざわざ」
早川瑛士 小5

水土里ネット明治用水理事長賞



「ザリガニ」
山本琳太郎 小2

茶屋新田地域資源保全隊賞



「空から見たいな、田んぼアート」
河村英治 小1

入選



「ぼくと田んぼ！そしてザリガニ」
橋本瞬斗 小1



「田んぼの草とり」
三浦唯花 小4



「みんなで水生生物調査」
山田翼羽 小4



「おばあちゃんちの田うえ」
鈴木芽依奈 小2



「田んぼアート*名古屋市南陽」
坂野柚希 小5



「風に揺れる田んぼ」
山田早奏 小4



「おじじじお米になりますか？」
宮崎紗帆 小2



「田んぼの収穫」
川田愛莉 小6



「朝一番のとれたてたまご」
山田花葉 小3



「カドから見た田んぼと畠のあひだ」
福井園基 小3



「春の畠 畑色のじゅうたんの畠」
梅野未彩季 小6



「赤トンボとつがいのキジを見つけたよ」
森田彪斗 小2



「おじいさんのすいかばたけ」
伊藤光佑 小1



「はないっぽいになあれ」
吉田彩那 小1



「トマトがいっぱいなったよ」
浅野のな 小1



「大好きなメロン」
松尾千有希 6歳



「おいしそうなりんごかごにいっぱい」
村井里帆 5歳



「畠のイモムシ」
菅沼うらら 5歳

愛知用水通水60周年記念イベント

愛知用水は、昭和36年(1961年)の全面通水開始から、60年の長きにわたり、岐阜県中濃地域から愛知県尾張東部・西三河・知多地域を潤し、人々の生活や農業・工業地域の発展に大きく貢献してきました。

通水60周年の節目である本年、愛知用水の重要性や水源地への感謝の気持ちを次世代へも繋げることを目的とした記念イベントが9月25日(土)JAあぐりタウンげんきの郷(愛知県

大府市)にて開催され、愛知用水の水源地・上流・下流地域に関する発表や愛知用水に関する絵画・フォトコンクールの表彰式が執り行われました。



大村知事とコンクール受賞者による「くす玉割り」

UAV(ドローン)導入のお知らせ

近年、様々な分野においてUAV(Unmanned Aerial Vehicle(人が搭乗しない航空機))の活用が増えてきています。土地改良事業においても、農地災害現場での写真測量、ため池・処理場・機場等を撮影しての点検・診断、現況地目の確認、作付け調査等、人が立ち入ることのできない

多くの現場でUAVの運用が考えられます。

今後これらの業務に対応していくため、水土里ネット愛知においてUAVを導入しました。職員の技術や知識の更なる向上を図りつつ、土地改良事業の推進に努めてまいります。



土地改良団体における女性参画推進

～検討業務がスタートしました～

土地改良団体における
女性参画推進ニュース
2021.10 創刊号

このニュースは、土地改良長期計画にも盛り込まれた
土地改良団体における女性参画推進に関する情報を整理して
関係の皆様にお届けするものです
各団体の女性参画推進の一助となることを願っています



土地改良団体における女性参画推進検討業務がスタート

全国水土里ネットが農林水産省から受託した「女性参画推進検討業務」第1回有識者委員会が9月21日に開催され、活発な議論が行われました。

次回は10~11月に北海道・東北ブロックで開催されます。

有識者委員会委員（敬称略、五十音順）

委員長 太田 信介 元農林水産省農村振興局長、前（一社）地域環境資源センター相談役
委員 白鳥 公靖 長野県土地改良事業団体連合会専務理事
委員 鈴木 紀之 葛西用水路土地改良区参事、葛西・羽生領島中領土地改良区連合所長
委員 武士千雅子 広瀬桃木両用水土地改良区副理事長
委員 萩原 丈巳 山梨県土地改良事業団体連合会総務課長、全国水土里ネット女性の会会長

農林水産省

山里土地改良企画課長メッセージ

- ・土地改良区は農業農村の更なる発展に貢献していく組織として、持続的に発展する必要があります。
- ・その中で女性が能力を発揮する機会を増やしていくことが重要です。

全国水土里ネット

室本専務理事メッセージ

- ・女性理事登用 10% の目標が掲げられたのはきわめて大きな起爆剤と考えます。
- ・この機会でなければ未来永劫、このような目標は達成できないし、関係者の意識改革も進まないでしょう。



詳しい情報が必要な方は
全国連土地改良広報センター牧、野口まで
TEL:03-3234-5480/E-M:midorinet@inakajin.or.jp

有識者委員会でのご発言より

◆委員長

- ・土地改良全体をどうしていくかという大きな流れも考えながら話し合いたい。
- ・遠い将来に向けて一歩一歩着実に進んでいくような運動にしたい。
- ・女性が加わることは多様化への第一歩であり、土地改良区の体制強化に女性参画の視点が加わることは素晴らしい。

◆委員

- ・運動論としてはまずは「(人が集まり発信する)場」をつくることが重要である。
- ・女性理事登用の必要性や効果を理事、総代、組合員にきちんと説明できないと途中で頓挫する。
- ・女性理事も複数いれば、多勢の男性の前でも意見を出しやすくなる。
- ・いきなり女性が理事になれと言われても何をしたらいいかわからない。

ひとコメモ

○第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月25日閣議決定）に

土地改良区（連合含む）における女性理事の登用が成果目標になりました。

○土地改良長期計画（令和3年3月23日閣議決定）においても同主旨が規定されました。



女性理事が登用されていない組織数	: (2016年度) 3,737/3,900	⇒ (2025年度) 0
理事に占める女性の割合	: (2016年度) 0.6%	⇒ (2025年度) 10%

新種のアメンボを長崎大学の研究グループと 本会職員が共同で発見!

国立大学法人長崎大学教育学部の大庭伸也准教授と大学院生 平石直樹氏、学外の共同研究者 松島良介氏、本会職員の森井隆文技師(事業部整備課)らの研究グループは、日本国内で新種のアメンボ「ケブカケシカタビロアメンボ」を発見しました。

国内での新種のカタビロアメンボの発見は、1964年以来57年ぶりとなり、職場外でも本会職員は活躍しています。



ケブカケシカタビロアメンボ(左:オス 右:メス)
「松島 良介氏撮影」

研修会のご案内

研修会・催し名	開催月	対象者	研修場所
水土里ネット役職員研修会	1月26日(水)	水土里ネット役職員	愛知県土地改良会館 7階大会議室(予定)
愛知県多面的システム 操作研修会	2月又は3月 予定	多面的システム 利用団体	愛知県土地改良会館 6階研修室(予定)

※新型コロナウイルスの影響により、延期もしくは中止とさせていただく場合がございます。

農業基盤整備資金の金利のご案内

令和3年12月20日現在の株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。
金利は金融情勢により変動します。詳しくは名古屋支店（TEL052-582-0741）までお問い合わせください。

区分	融資期間に かかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
補助事業 県営	0.45%	—	—	—	—
団体営	0.30%	—	—	—	—
非補助事業 一般	0.30%	—	—	—	—
災害復旧	—	0.16%	0.17%	0.30%	0.30%

迎春

本年もよろしくお願
いいたします
令和四年 元旦



会長	中野治美	海部土地改良区理事長 向島土地改良区理事長
副会長	小久保三夫	豊川総合用水土地改良区理事長 豊橋開拓土地改良区理事長
専務理事	介保信	学識経験者
理事	男康徳	北名古屋市長
タ	城英雄	海東土地改良区理事長
タ	幸正	一宮市長
タ	一勝	孫宝排水土地改良区理事長
タ	知文	常滑土地改良区理事長
タ	片久山	愛知用水土地改良区理事長
タ	瀬藤	幸田土地改良区理事長
タ	野田	矢作南部土地改良区連合理事長
タ	佐中	明治用水土地改良区理事長
タ	浜岡	矢作川南部土地改良区理事長
タ	片久山	西尾市長
タ	久山	豊田土地改良区理事長
タ	杉川	みよし土地改良区理事長
タ	浦上	十四山土地改良区理事長
タ	村中	油ヶ淵悪水土地改良区理事長
タ	浦田	田原市土地改良区理事長
タ	三小野	見淳輔泰浩豊道仁彦紀志彦三也
タ	平近	成亮邦輝和貴一芳哲
タ	野藤	塚大磯伊水桑松池小長酒山戸山田
タ	保	長幹長幹長幹長幹長幹長幹
代表監事	正武	整主族主名古宮一主海半(彭)幅農豐主
監事	瞳俊彦	課理課務事務事務事務事務事務事務
タ	正武	事務事務事務事務事務事務事務
事務業務監査	二司尚矢功紀忍邦義	事務事務事務事務事務事務事務
事務業務監査	仲裕広達純義	事務事務事務事務事務事務事務
事務業務監査	下田藤世野坂美上	事務事務事務事務事務事務事務
事務業務監査	竹竹佐三西長宇村	事務事務事務事務事務事務事務
事務業務監査	長長長長長監官	事務事務事務事務事務事務事務
事務業務監査	長長長長長監官	事務事務事務事務事務事務事務
事務業務監査	長長長長長監官	事務事務事務事務事務事務事務

ほか職員一同

令和4年1月1日現在